

ナチュラル・サウンドをコンセプトとした OCB-1 の新たな一員

OCB-1 SX

オヤイデの主力製品として 30 年以上にわたり輝き続けている「OCB-1」。現在のモデルは 2004 年にデビューした「OCB-1 ST, DXs, EXs」で、スターカッド撚り電源コード「L/i 50」を採用した初代からのスタイルを受け継ぎながらも、ケース、コンセント、電源プラグなど主要部材をすべてセルフ・プロデュースするなど、常に進化の手を緩めない姿勢がその人気を支えています。そして 2008 年、新たに「OCB-1 SX」が加わります。「OCB-1 SX」は大胆にも、スターカッド撚り電源コード「L/i 50」から、プロユース向けに PCOCC-A を導体を使用した 20A 対応 3.5sq3 芯キャブタイヤ構造の「BLACK MAMBA」を採用。また、プラグは P-029 をモディファイ、コンセントには「MTS-6」にも採用されたオリジナルコンセントを採用。まったく違うコンセプトのもと作り上げられた「OCB-1 SX」が、新たな価値観を提供します。



ケーブル : BLACK MAMBA
ケーブル導体 : PCOCC-A (3.5sq)
ケーブル構造 : 3 芯キャブタイヤ構造
ケーブル長 : 2.0m
コネクタ : P-029 (真鍮、無メッキ)
コンセント : オリジナル SWO (リン青銅、無メッキ)
コンセント口数 : 4 口
内部配線 : OFC 2.0mm 単線
外型寸法 : W 120 × L 120 × H 60
重量 : 830g
発売予定日 : 2008 年 11 月 20 日

JAN CODE : 4562112760167

標準価格 : ¥ 24,000- (税込 ¥ 25,200-)

※ケーブル延長 0.5m 増すごとに ¥ 2,600- (税込 ¥ 2,730-)

★SALES POINT★

- OCB-1 SX は次世代を切り開くというコンセプトのもと、OCB-1 シリーズの最大の特徴ともいえる、電源コード「L/i50」から、PCOCC-A 導体を採用したキャブタイヤ構造の「BLACK MAMBA」へケーブルを変更。プロマーケットで求められる音質、ハイファイでもローファイでもない極めてニュートラルなサウンドを具現化します。
- 内部渡り配線には 20A OFC2.0mm の単線を使用。10cm 程度のパワー伝送においても妥協を許しません。
- コンセントとプラグからメッキを排し、素材が持つ本来のサウンドの魅力を最大限に引き出します。パーツとして打ち抜かれた素材は、機械的にバレル研磨されその後、人間の手により 1 つ 1 つバフ研磨を施し鏡面仕上げしました。
- ケーブルとタップ本体が一体構造となっているため、ケーブルセパレーション式の電源タップに比べ、接点ロスが少なく、また接続するケーブルによって大きく音調が変化するということがありません。
- タップ本体は、高い剛性を持つエンブラ素材「PBT GF30%」をベースに、EMI を考慮しカーボンを配合。本体肉厚は従来製品（塩ビ 2.8mm）と比べ、1.2mm 厚い 4mm とし剛性を高めました。また、構造はモノコック構造を採用し、コンセントの固定は底辺より 4 本のポストを立ち上げ、振動を直接シャーシ底辺に伝達します。この複合要素により、歪感が減少し、カーボンの効果により極めて高 S/N な透明感のある音質となりました。
- オプションパーツで真鍮スパイク・防振ゴムセットをご用意し、お好みのトーンコントロールを可能にします。

